

地区活動報告

ポリオ根絶に向けた取り組み テレビ和歌山で放映

地区幹事(雑誌公共イメージ委員会担当 岡本 弥生

11月10日(火) 17:33~17:44(約11分間)、テレビ和歌山の番組「イブニングアイ」で、ポリオの世界的状況、国際ロータリーおよび第2640地区の取り組みを紹介しました。

番組内では、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、大規模なワクチン予防接種を停止するよう指示があり4月だけでも世界中で4,000万人以上の子供たちが、ポリオワクチンの定期予防接種の機会を失っています。ポリオの根絶まであと少しのところまで来ているのに、新型コロナの影響でポリオを再燃させてしまうと1985年からこれまで日本のロータリーだけでも9,760万ドル以上の支援を行ってきた先輩ロータリアンから受け継いできた努力が水の泡となってしまいます。そうならないように、コロナ禍である今こそ、声を大にしてポリオの根絶の歩みを前に進めなければならないと訴えました。



特に、当地区では広く皆様からご協力頂けるよう世界遺産の高野山で祈願法会を行うことでメディアに取り上げて頂きやすくすることで、ポリオのことをあまりご存じでない方にも「ポリオって何だろう?」と感心を持って頂ければと考えています。地区内全ロータリークラブに対して、所在市区町村への募金箱設置の呼掛けもその一つです。ポリオについて考えて頂くきっかけになればと呼びかけました。

また、スマホなどから簡単にアクセスしていただけるポリオ根絶の為の募金サイトも立ち上げています。掲示のQRコードをスマホで読み取っていただき、募金の協力お願い。ポリオを根絶、出来ればこの世界から一つ感染症をなくすという歴史にページを刻むことが出来ます。是非、皆様と共にこの歴史のページを刻めれば、ポリオ根絶まで「あと少し」と皆様の協力を重ねてお願いしました。



2020年11月10日(火) PM5:33 - PM5:44(約11分間)
ポリオの世界的状況、国際ロータリーおよび第2640地区の取り組みを紹介

世界のポリオ根絶に向けた取り組み

ポリオ(急性弛緩性麻痺)
ポリオウイルスによって発症する麻痺病に5歳以下の子供にかかることが多く手や足に麻痺などを起こす
日本では一般に「小児まひ」と呼ばれることも
ワクチンによる予防も効果はなし

日本では
昭和35年 ポリオ患者が5000人を超える
昭和 生ポリオワクチンも
昭和38年 新参輸入して麻痺
昭和38年- ワクチンの定期接種始まる
昭和55年の1歳を最後に新たな患者は出ず

ポリオに闘争する事実

1. 誰も感染しやしないとも言えない子ども
2. 治療法はないがワクチンで予防が可能
3. 野生型ポリオウイルスの常在国はわずか2カ国
4. 1988年以降、発症数は99.9%減少
5. ポリオを永久になくさない限り、感染リスクは全世界の子どもに

ワクチンの贈送
高野山梅さん(和歌山)「娘達に社会ワクチン接種の活動」

ポリオ根絶のための募金

- ◆ 募金口座 紀陽銀行 東和歌山支店
- ◆ 口座番号 普通預金 2054564
- ◆ 口座名義 「ロータリー-2640ポリオ募金」

みんなでコロナを乗り越ろう

出演：国際ロータリー第2640地区の地区幹事 岡本弥生
ロータリー財団委員長 初田隆生
ポリオプラス小委員会委員長 井手良明